

令和6(2024)年度 伊丹市一般廃棄物処理基本計画

年次レポート

令和7年9月

目 次

はじめに	1
【 進 捗 状 況 】	2
【一般廃棄物処理基本計画の進捗状況】	3
① 資源化率	3
② ごみ総排出量	4
③ 家庭系ごみ排出量	5
④ 事業系ごみ排出量	6
⑤ 最終処分量	7
⑥ 1人1日あたり家庭系ごみ排出量	8
【 取 組 事 項 】	9
市域の食品ロス実態調査	9
市内一斉「てまえどり」アピール	10
フードドライブ	11
「伊丹市食品ロス削減協力店」事業	12

はじめに

伊丹市では、平成30(2018)年3月に、令和9(2027)年度を最終目標年度とする「伊丹市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。本計画では「市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造」の基本理念のもと、ごみの発生抑制と再利用を推進するため“2つの減量目標”と“4つの個別減量目標値”を設定し、基本理念の実現に向け“36の具体的な取り組み”を掲げています。

本報告書は、計画の着実な進行を図るため、令和6(2024)年度における減量目標・個別目標・取組状況について、とりまとめたものです。

◆伊丹市一般廃棄物処理基本計画の概要◆

□基本理念

『市民、事業者、市の三者協働による未来へつなぐ循環型都市の創造』

□計画期間

平成30(2018)年度から令和9(2027)年度までの10年間

□減量目標

発生抑制率：令和9(2027)年度のごみ発生量を平成27(2015)年度に比べ10%(6,649t/年)抑制します。

資 源 化 率：令和9(2027)年度の資源化率を18.5%に改善します。

【進捗状況】

◆減量目標◆

令和9(2027)年度までに

- ① 発生抑制率10%達成 ② 資源化率18.5%達成

計画年度 目標項目	平成27年度 (基準年度)	令和5年度	令和6年度			令和9年度 (最終年度)
	実績値	実績値	目標値	実績値	前年度比較	目標値
発生抑制率(%)	—	12.7	7.5	14.4	1.7	10.0
資源化率(%)	16.6	17.1	17.9	16.6	▲ 0.5	18.5

<個別減量目標>

計画年度 目標項目		平成27年度 (基準年度)	令和5年度	令和6年度			令和9年度 (最終年度)
		実績値	実績値	目標値	実績値	前年度比較	目標値
総排出量 (t/年)		66,603	58,156	61,623	57,025	▲ 1,131	59,954
(内訳)	家庭系ごみ (t/年)	42,959	37,325	39,872	36,186	▲ 1,139	38,835
	事業系 (t/年)	23,644	20,831	21,751	20,839	8	21,119
最終処分量 (t/年)		7,727	6,240	7,029	6,002	▲ 238	6,796
1人1日あたり家庭系ごみ 排出量(g/人日)		570	520	546	508	▲ 12	531

【一般廃棄物処理基本計画の進捗状況】

① 資源化率

資源化率…前年度比較 0.5%の減少

計画年度 目標項目		平成27年度 (基準年度)	令和5年度	令和6年度			令和9年度 (最終年度)
		実績値	実績値	目標値	実績値	前年度比較	目標値
総資源化量 (t/年)		11,081	9,917	10,981	9,471	▲ 446	11,001
(内訳)	行政回収 (t/年)	5,281	5,609	5,329	5,434	▲ 175	5,337
	集団回収 (t/年)	5,194	3,861	5,211	3,596	▲ 265	5,217
	剪定枝堆肥※1 (t/年)	76	76	76	76	0	76
	中間処理後※2 (t/年)	530	371	365	365	▲ 6	371
資源化率(%)		16.6	17.1	17.9	16.6	▲ 0.5	18.5

※1 中間処理施設に搬入された剪定枝の一部を堆肥化

※2 中間処理施設に搬入された鉄・アルミなどを選別し資源化

資源化物の分別収集と再資源化

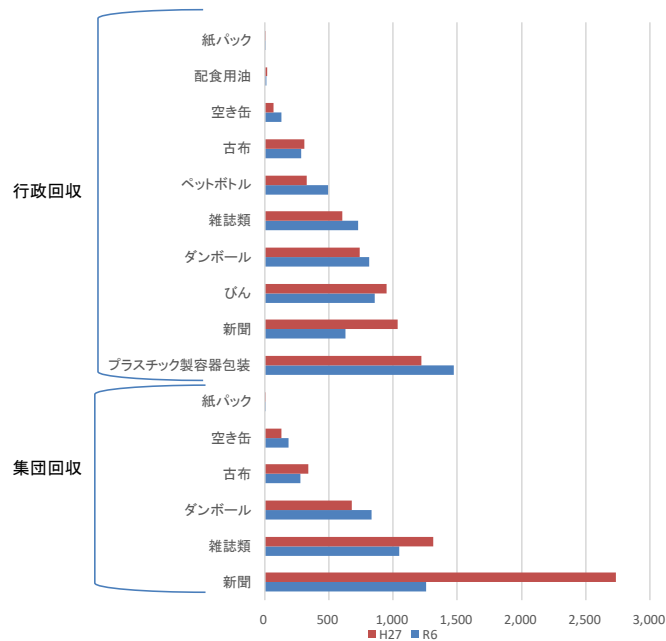


図 資源化物の分別収集と再資源化

② ごみ総排出量

ごみ総排出量…前年度比較 1,131tの減量

ごみ排出量(t)

年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	64,941	64,409	63,845	63,289	62,734	62,194	61,622	61,067	60,502	59,954
実績値	63,599	63,361	62,223	61,987	60,483	58,156	57,025	0	0	0

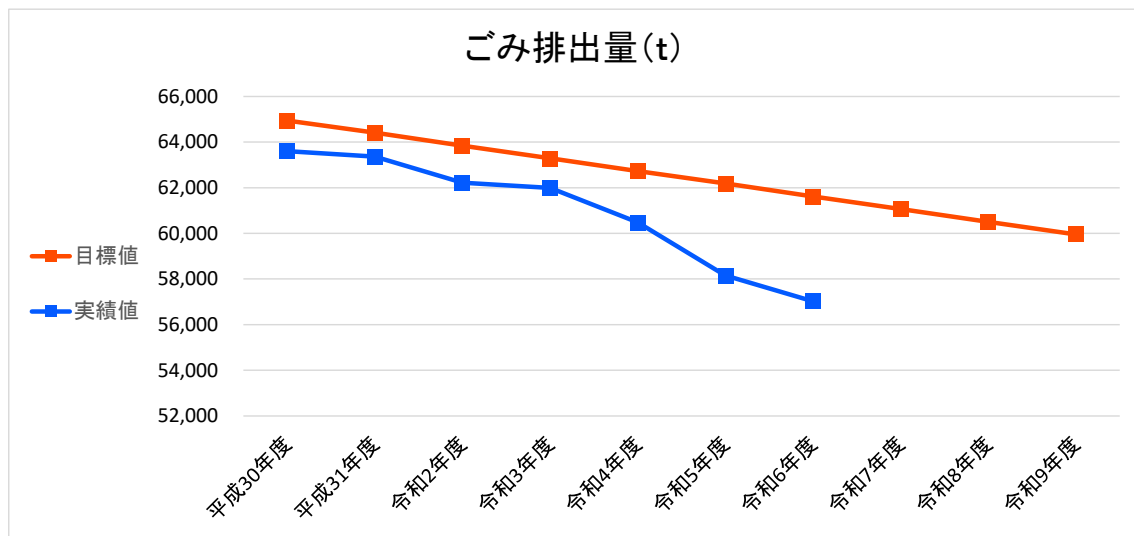


図 ごみ総排出量

③ 家庭系ごみ排出量

家庭系ごみ排出量…前年度比較 1,139tの減量

家庭系ごみ排出量(t)

年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	41,928	41,606	41,252	40,907	40,562	40,233	39,872	39,527	39,172	38,834
実績値	40,750	40,750	40,933	40,643	39,298	37,325	36,186	0	0	0

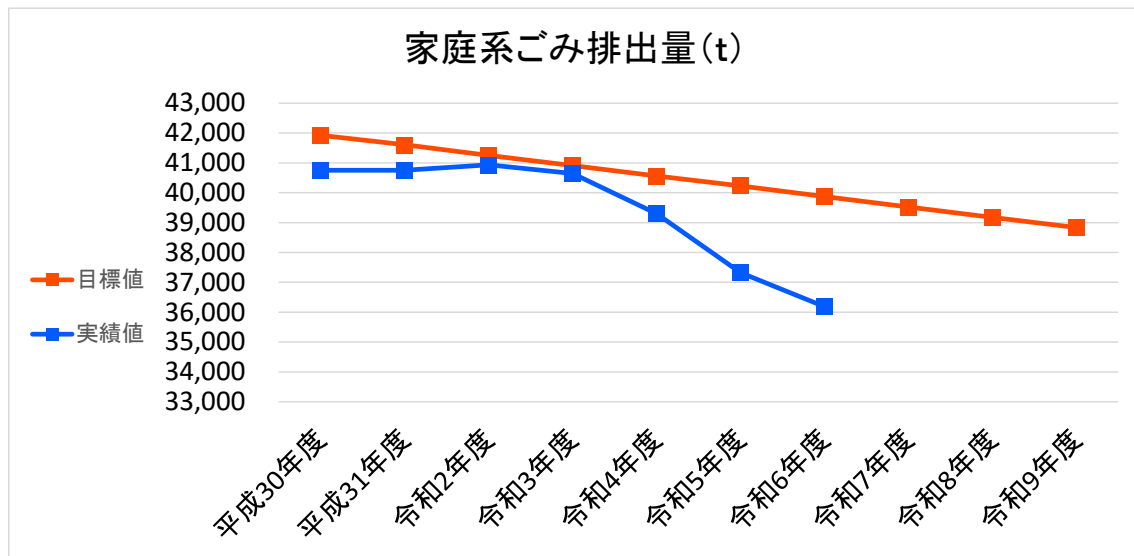


図 家庭系ごみ排出量

④ 事業系ごみ排出量

事業系ごみ排出量…前年度比較_8tの増加

事業系ごみ排出量(t)

年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	23,013	22,803	22,592	22,382	22,171	21,961	21,751	21,540	21,330	21,119
実績値	22,937	22,611	21,290	21,345	21,184	20,831	20,839	0	0	0

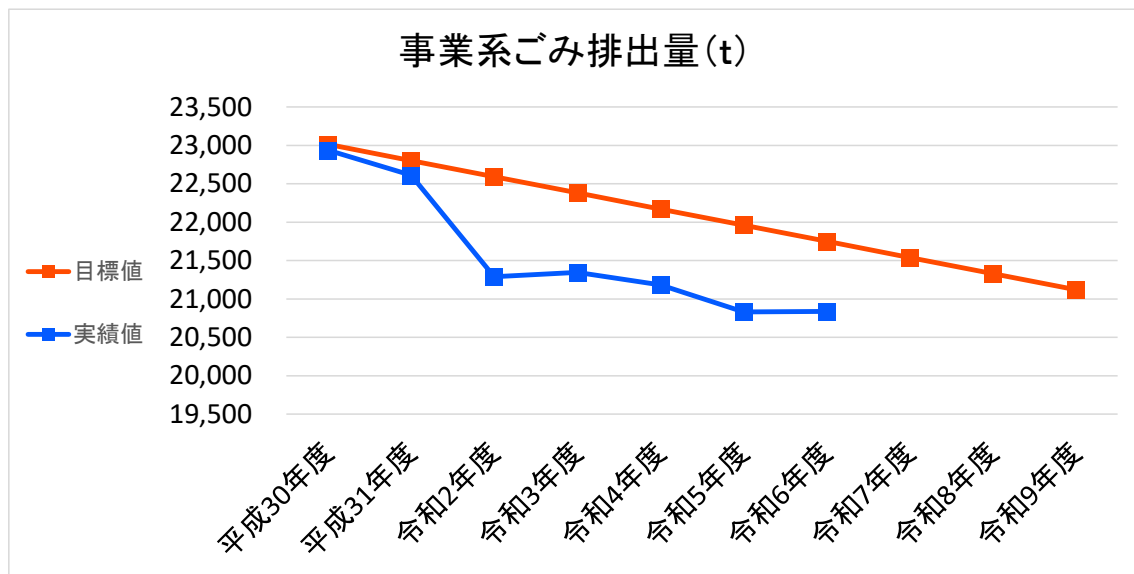


図 事業系ごみ排出量

⑤ 最終処分量

最終処分量…前年度比較 238tの減量

最終処分量(t)

年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	7,494	7,417	7,339	7,262	7,184	7,107	7,029	6,952	6,874	6,796
実績値	7,160	7,020	7,072	6,705	6,569	6,240	6,002	0	0	0

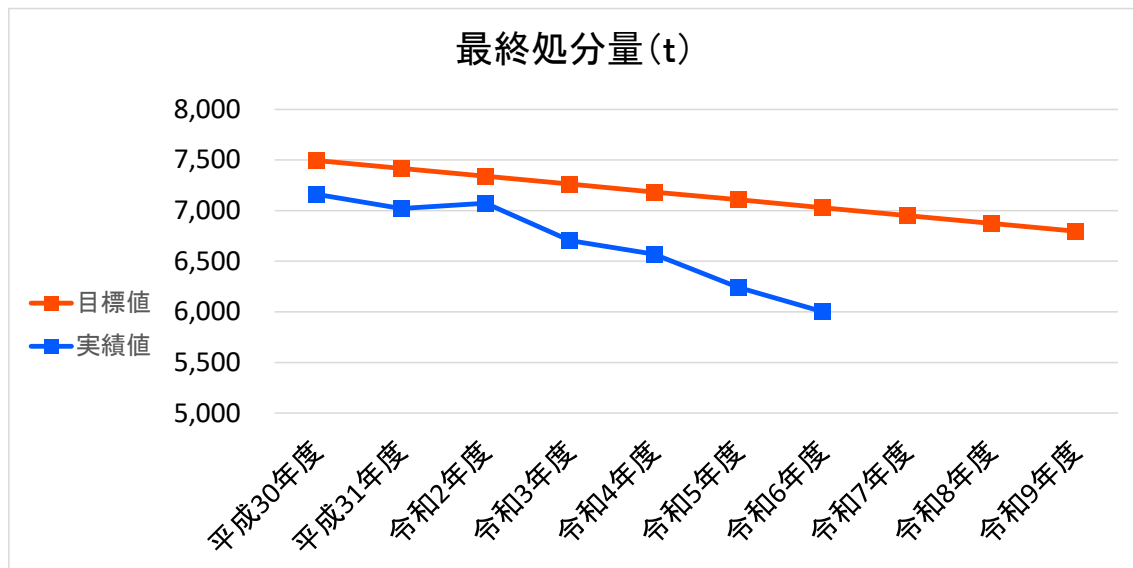


図 最終処分量

⑥ 1人1日あたり家庭系ごみ排出量

1人1日あたり家庭系ごみ排出量(g/人日)…前年度比較12gの減量

1日1人あたり家庭系ごみ排出量(g/人日)

※再資源含む

年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	577	570	566	561	556	549	546	541	536	531
実績値	563	561	565	563	546	520	508	0	0	0

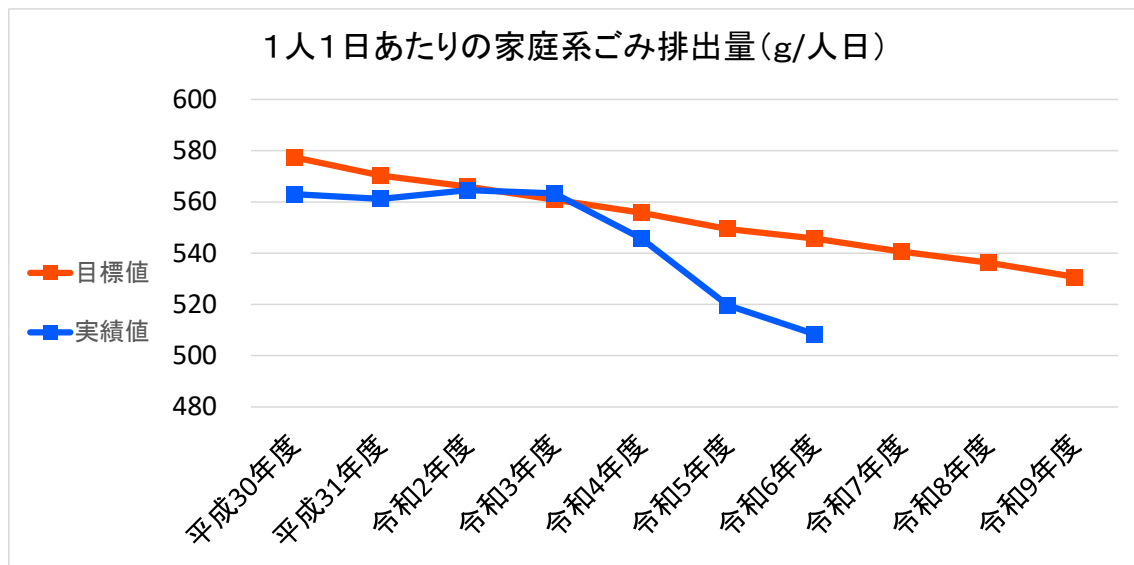


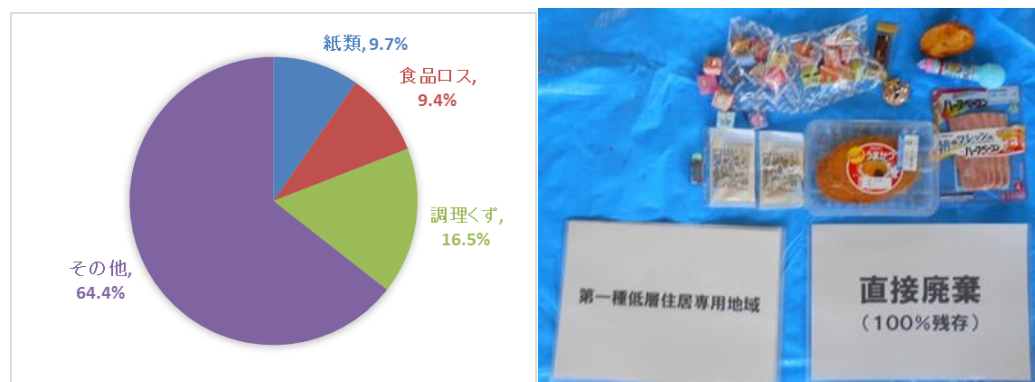
図 1人1日あたり家庭系ごみ排出量

【 取 組 事 項 】

市域の食品ロス実態調査

令和6年5月に市内で発生している食品ロス(食べ残しや期限切れ食品の廃棄)の実態を把握するため、家庭から出る燃やすごみの組成調査を実施しました。

その結果、燃やすごみ全体重量の約 9.4%を食品ロスが占めており、市域全体で試算すると年間約 2,409 トン、1人1日当たり約 33.7 グラムの食品ロスが発生していることが分かりました。これらを金額に換算すると、年間約 27 億円、1人当たり年間約 1 万4千円に相当する食品が廃棄されていることとなります。



市内で廃棄された食品(一例)

市内一斉「てまえどり」アピール

10月の食品ロス削減月間に合わせ、市のマスコットキャラクター「たみまる」をあしらった啓発用ポップやポスターを作成しました。これらを市内のスーパーマーケットやコンビニエンスストアの店内、特に商品陳列棚などに掲示し、市民の皆様には「てまえどり」を周知啓発しました。



フードドライブ

市民団体と尼崎信用金庫、県立伊丹西高等学校生徒会の皆さんがフードドライブを開催されました。フードドライブとは、家庭で余っている未利用食品を、食料支援を必要とする方々へ届ける取り組みであり、この活動は市民や事業者の皆さんの日常生活に根ざした身近な社会貢献として、着実に浸透してきています。

また、市が実施する拠点回収の周知活動をさらに推進するとともに、市民や事業者が行うフードドライブについて、福祉部局と連携して引き続き支援してまいります。



「伊丹市食品ロス削減協力店」事業

飲食店での食べ残しを削減するため、食材を“使い切る工夫”や“少なめなど”、きめ細やかなメニュー展開に取り組まれている市内の飲食店を募集。

「伊丹市食品ロス削減協力店」として登録し、市ホームページ等で紹介。市内 46 店舗が協力店として登録いただいております。

（令和7年 3 月末）。

